

全道医家囲碁大会

名人戦は樋口6段が7連覇（通算13度目）！
本因坊戦Aクラスは田口5段、
本因坊戦Bクラスは八木橋2段格がそれぞれ初優勝！

第34回全道医家囲碁大会を終えて

全道医家囲碁連盟常任幹事

岡村 廉晴

全道医家囲碁連盟主催による第34回全道医家囲碁大会の前夜祭と大会が、それぞれ平成19年11月3日（土）・4日（日）の2日間にわたり開催されました。

前夜祭は大会前日の3日（土）に、道内の女流アマ棋士の会「北星会」メンバー12名のご参加をいただき、北海道医師会館で午後2時より、ペア碁として開催されました。

大会は、翌4日（日）札幌市医師会館で南田英俊副会長の司会により午前9時15分から始まり、まず、三宅直樹会長の開会挨拶、上村収蔵プロ棋士（6段）の紹介、若浜三郎副会長の競技ルール説明などがあり、対局に入りました。

今回の出場者は、名人戦が12名、本因坊戦Aクラスが8名、同じくBクラスが12名、上村プロ棋士による指導碁が1名の計33名でした。

名人戦の出場者は12名なので、一定条件（前回、前々回の成績を考慮）のもとにシード4名を選出してトーナメント方式にしました。優勝決定戦は、高橋成夫7段（中央ブロック：札幌市医師会）と樋口晶文6段（中央ブロック：札幌市医師会）で前回と同じ組み合わせとなり、樋口先生が優勝（7連覇、通算13度目）されました。



挨拶する長瀬道医会長



挨拶する三宅連盟会長

本因坊戦はハンディ戦ですが、従来どおり変則リーグ4回戦方式としました。Aクラス優勝は田口善作5段、準優勝は渡会博志5段格で、Bクラス優勝は八木橋厚仁2段格、準優勝は武田圭佐2段でした。

入賞された先生方には大変おめでとうございました。また、惜しくも入賞を逃した先生方には本年の奮起再戦をご期待申し上げます。

なお、今大会はこの日程しか取れなかったため、連休の予定を既に組んでおられた先生方も多かったことと思います。今年のご参加をお待ちしております。

大会終了後懇親会・表彰式に入り、北海道医師会の長瀬会長ご臨席のもと三宅囲碁連盟会長とともに賞品授与が行われ、和やかな雰囲気の中、楽しみにしていた名人戦優勝決定戦の大盤解説が行われました。樋口・高橋両先生による決戦の再現があり、上村プロ棋士より解説・指導がなされました。



前夜祭風景



大会風景

優勝記



市立札幌病院

樋口 晶文

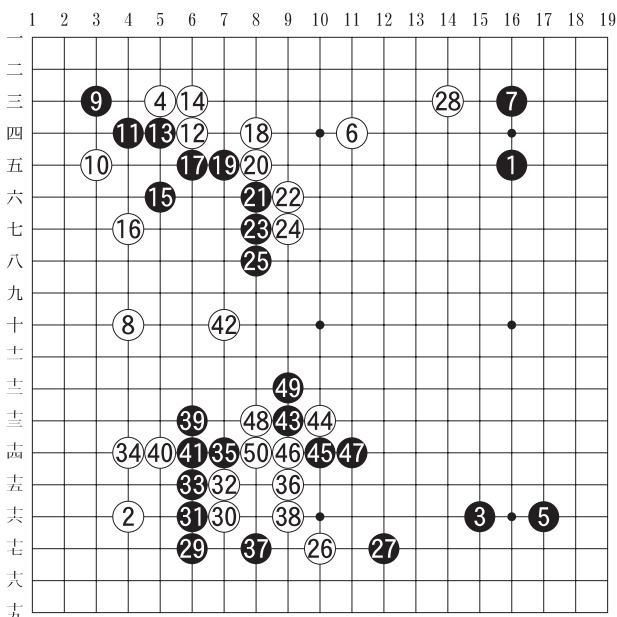
13回目の優勝とても嬉しく思います。よくもこんなに勝てたと自分自身感心しております。また、下手な自戦記書かせていただきます。

1回戦は不戦勝でした。2回戦は石川先生と3回戦は滝本先生でした。滝本先生とは、苦戦を強いられ何とか辛勝しました。先生にはいつも危なく過去2回敗れております。決勝は高橋先生と3年連続です。気合は入ったの戦い開始です。

1譜 (1-50)

私の黒番です。黒1、3の高目は最近試みている構えです。白は、我関せずと2、4、6と陣地を広げます。黒9と入り戦いの開始です。上村先生の指摘では、白18がやや疑問とのことでした。黒21、23、25と中央に顔を出して気分は良かった。黒29と打ち込み2回戦である。白30はやや無理と思われ、黒35と頭をたたいては優勢を意識した。黒43から45の強手と黒が攻め合いを制して優勢になった。

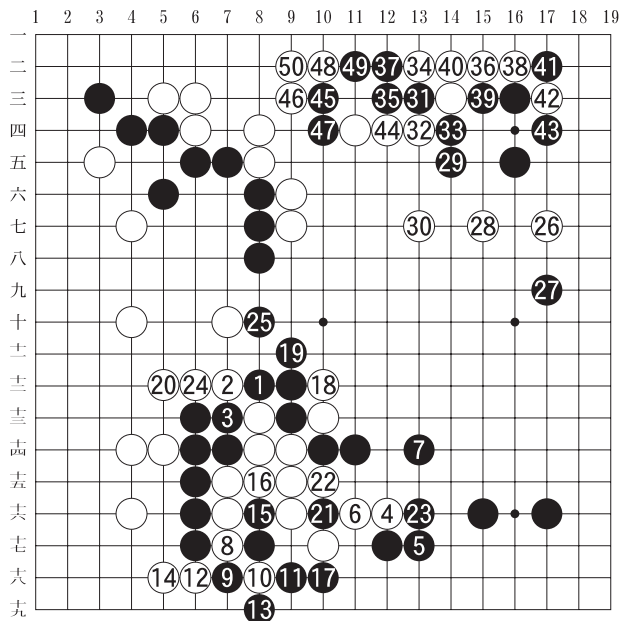
第1譜1~50 樋口(黒)対高橋(白)



2譜 (51-100)

黒51と強引に押さえつけては白苦しい。白は70としばって左下辺を大地にしたが、黒の右辺が大きく黒順調である。白76と必至のところである。戦いは続く。

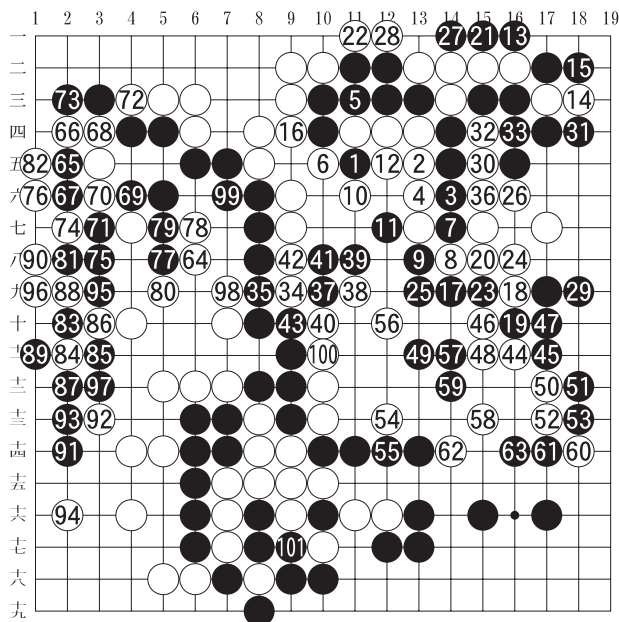
第2譜1~50 (通算51-100)



3譜 (101-201)

黒101に102が妙手、106と白の攻め合いは勝ち。しかし黒は大きく右辺をまとめ優勢になる。白の最後の戦いであるが、一步及ばない。

第3譜1-101 (通算101~201)



囲碁は、何歳になっても楽しめる趣味である。今後も精進していきたいものである。

いつもながら、大会の運営にご尽力いただいている囲碁連盟の三宅会長はじめ関係者の皆様に深謝いたします。有難うございました。

本因坊戦A組優勝記

札幌市医師会

田口 善作



第34回全道医家囲碁大会の本因坊戦のAクラスで、3勝1敗で、辛うじて、優勝させていただき有難うございました。平成19年11月4日は好天に恵まれ、風もない、さわやかな朝で、私は医師会館に20分も早く着いたので、その周辺をゆっくりと散歩してから会場に入りました。さて、大会を振り返ってみると、第1局目は、耳鼻科の前田幸昱先生（5段）との互い戦で、私の先で始まり、中盤まで地のない劣勢の碁でしたが、白の勢力を分断し、中押し勝ちとなりました。次の、第2局は、昨年Bクラス優勝の三宅直樹先生（5段）で、中盤まで互角に進行していましたが、終盤に、下辺での折衝で利を得て、中押し勝ちでした。第3局は、普段から医局で対局している上田晃先生（5段）との握りで、私の先で始まり、中盤まで優位でしたが、右辺で、黒に断点が生じ、中押し負けとなりました。第4局は、苦小牧の伊藤長英先生（6段）との最終戦は、この時点でどちらも2勝1敗で、勝てば優勝の1局でした。中盤で、白が仕掛けた戦いで、逆に黒が有利となり、白の勢力を2分し、優位に立ちました。終盤では、大きなコウ争いが生じたが、5目の差で勝利を得ました。

この大会では、いつも、かなり緊張していましたが、今回は、顔なじみの参加者が多かったせいか、冷静に打つことができました。来年は、名人戦はまだ無理なので、A組で全勝するように頑張りたいと思います。

第34回大会成績表

(敬称略)

【名人戦】

順位	氏名	得点
優勝	樋口 晶文	34
準優勝	高橋 成夫	27
第1位	滝本 昌俊	26
第2位	岡村 廉晴	25
第3位	前川 隆	24

【本因坊戦Aクラス】

順位	氏名	得点
優勝	田口 善作	26
準優勝	渡会 博志	24
第1位	上田 晃	24
第2位	伊藤 長英	19
第3位	三宅 直樹	18

【本因坊戦Bクラス】

順位	氏名	得点
優勝	八木橋 厚仁	34
準優勝	武田 圭佐	26
第1位	大泉 和夫	25
第2位	仲 俊之	24
第3位	中川 東	19

電子メールによる会員への情報提供について

— メールアドレスの登録 —

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様へ送信提供しております。対象は当会のインターネット接続サービス登録者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、

是非ご登録いただきたくご案内いたします。

●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：

add@m.doui.jp